



# 活動報告

2022



 蘭台エコアップ・プロジェクト

## ごあいさつ

私たちの活動にご協力・ご支援をいただき、ありがとうございます。

2022年度は新たなメンバーが加わり、活動の幅が広がった1年でした。

また、団体発足当時からの懸案事項であった、物置の設置を果たすことができました。私たちのメインフィールドである天王ダムビオトープは、ダム湖内にあるため、物置を設置するには法的に非常に高いハードルがありました。しかし、幸運なことに役所の関係部署の方々が理解者揃いで、難しく面倒な手続きを通してくださいました。また、公的な助成金で全額補助してもらえないという壁にも直面しましたが、クラウドファンディングに挑戦したところ、予想以上の温かいご支援を頂くことができ、念願の物置を購入し設置することができました。

このように、人の温かさに支えられて、私自身が成長できた1年でした。また、活動を開始して4年目になりますが、まだまだ新たな発見に驚いたり喜んだり、楽しい1年でした。

一方で思うようにできなかったこともありました。生物観察会を企画しましたが参加者ゼロでした。また、地元小学校とビオトープの利活用について協議しましたが、小学校との連携は簡単ではないことが分かりました。

2022年度の経験を糧に、2023年もみんなが楽しめるよう頑張りますので、引き続き応援していただけると嬉しいです。

鈴蘭台エコアップ・プロジェクト  
会長 日野 淳郎

公式サイト:<https://kobe-shizen.net/>  
連絡先メール:[dam-bio@kobe-shizen.net](mailto:dam-bio@kobe-shizen.net)



メール



Facebook



Instagram

## 活動目的

天王ダムビオトープは、鈴蘭台地区では貴重な、車で来て安全※に水遊びができる場所です。地域の子供たちが気持ちよく安全に自然観察や川遊びができ、大人も散歩や自然観察で利用できる場所として維持することで、地域の環境意識の向上、生態系の保全、地域の人々の交流促進を図るとともに、ダムの治水機能・水辺の事故防止の啓発を目的としました。

※天王ダムビオトープは河川及びダム湖内にあるため、雨天時や増水時は絶対に近づいてはいけません。  
また、晴天時であっても水辺は一步間違えると取り返しのつかない事故につながるため、注意が必要です。

## 2022年度の主な成果

- 天王ダムビオトープに物置を設置しました。
- 小部東小学校と天王ダムビオトープの利活用について協議しました。今後も地元小中学校や幼稚園、高校、大学による利用、連携を模索していきます。
- 草刈り、親水設備の泥かき、清掃などのボランティア活動に対し、「いつもありがとう」と感謝を伝えてくれる人が増えてきました。一方で「もっと活動範囲を広げて欲しい」、「ボランティアですのではなく、行政がするように働き掛けるべきだ」といった意見や要望も少なくありません。
- 六甲山系に自生する樹種 16 種類が植栽されている里山ゾーンでは、木が順調に生長し林らしくなってきました。8 月にはタムシバが多数飛翔するなど、ビオトープとしての価値が向上してきています。
- 新たにインスタグラムと公式サイトを開設し、広報活動を行っています。

## 会員

今年度は 1 名が退会、8 名が入会し、3 月現在の会員数は 13 名になりました。  
昨年度より、活動に参加できる会員が増加し、草刈りを実施できる範囲が広がりました。

## 活動の記録

実施日	実施内容					参加人数	備考
	美化	草刈り	水質調査	生物調査	その他		
4月2日	○	○				5人	
5月7日	○	○				44人	神戸国際流通促進協同組合が参加
6月4日	○	○	○			9人	
7月2日	○	○			●	観察会予行	5人
8月6日	○	○				4人	
8月7日				○		3人	
9月3日	○	○				5人	
10月1日	○	○				5人	
10月22日					●	観察会予行	2人
11月5日	○	○				5人	
12月3日	○		○	○		6人	
12月15日					●	物置設置作業	2人
12月18日					●	物置設置作業	7人
12月24日					●	物置設置作業	3人
2月4日	○				●	カエル産卵場※	6人
3月4日	○	○			●	タムシバの補植	4人
延べ16日	11	9	2	2	7	111人	

※「カエル産卵場」はカエルの産卵場づくりを表す。

# 天王谷川の水質調査

天王谷川の水質をモニタリングするため、毎年6月と12月に、COD、pH、電気伝導度、水温、気温を計測しています。  
今年度の水質は例年と大きな差がなく、安定していることが分かりました。

実施日	参加人数
6月2日	9人
12月3日	6人

調査地点は天王ダムビオトープ親水設備

## 成果・課題など

- 2019年度から夏と冬の年2回の調査を継続しており、水質は概ね安定しています。

## 次年度の予定

- 水質測定結果の蓄積に意義があると考えており、今後も活動を継続します。

表 水質調査結果(過年度結果含む)

年月日	時刻	天候	気温 (度)	水温 (度)	COD	pH	EC ( $\mu$ S/cm)
2019/6/1	13:40	晴れ		23.0	7		
2019/12/7	16:00	曇り	5.5	7.5	5	7.3	62
2020/6/6	12:00	曇り	26.0	22.5	6	8.1	116
2021/6/5	15:00	晴れ	23.5	19.0	5	8.0	107
2021/12/4	10:30	晴れ	8.0	8.0	2	7.2	154
2022/6/4	10:30	晴れ	22.0	22.5	6	8.4	85
2022/12/3	10:15	晴れ	6.5	6.5	7	6.9	124



調査の様子 [撮影：2022/6/4]



気温水温測定 [撮影：2022/6/4]



pH、電気伝導度測定 [撮影：2022/6/4]



パケットテスト [撮影：2022/12/3]

## 天王ダムビオトープの草刈り

2017年に神戸市立小部東小学校の児童が、自分達で拾い集めたドングリから育てたコナラの苗木など16種類554本の樹木が植えられた里山ゾーン、および親水設備のある水辺ゾーンの草刈りを実施しました。

回	実施日	参加人数	備考
1	4月2日	5人	
2	5月7日	44人	神戸国際流通促進協同組合が参加
3	6月4日	9人	
4	7月2日	5人	
5	8月6日	4人	
6	9月3日	5人	
7	10月1日	5人	
8	11月5日	5人	
	延べ8日	延べ82人	

### 成果・課題など

- 5月、6月の草刈り時に、キイロスズメバチと思われる巣が植栽木に着いているのを複数確認。なお、働きバチはおらず女王バチしかいなかったため、攻撃行動等は見られませんでした。この時期の草刈りを怠ると、ハチの巣が大きくなり、働きバチに攻撃される危険が高まると考えられます。
- 植栽木が大きくなり、刈払機による誤伐リスクが低下してきました。
- 地元のコオロギ愛好家が、複数種のコオロギを観察できる場として重宝していると言っていました。本来のビオトープらしい利用をされて嬉しく思いました。
- 草刈りされていることで、グラウンドから飛んで来るファールボールを見つけやすいと、グラウンド利用者から感謝されました。
- 草地に投げ込まれるゴミ（空き缶、マスク、汗拭きシートなど）が絶えず、刈払機に空き缶が接触すると跳ね飛ばされるため危険です。また、マスクや汗拭きシートは刈刃に巻き込まれるため、作業を一時中断して取り除かなければならず、大変迷惑です。「ありがとう」と言ってくれる人もいれば、ゴミを散らかして帰る利用者がいます。
- 5月に神戸国際流通促進協同組合の外国人（ベトナム人）技能実習生が地域貢献の一環で参加してくれました。定例行事にできるといいと思いましたが、実施後は音信不通です。

### 次年度の子定

- 活動を継続します。
- 可能な範囲で、草刈りする範囲を広げていきます。



手刈り [撮影：2022/5/7]



里山ゾーンの草刈り [撮影：2022/6/4]



大人の身長を超える草 [撮影：2022/7/2]



草刈り後の様子 [撮影：2022/8/6]



草刈り作業の様子 [撮影：2022/6/5]



草集め [撮影：2022/7/2]



草刈り前 [撮影：2022/10/1]



草刈り後 [撮影：2022/10/1]

## 物置の設置

天王ダムスポーツガーデンのグラウンドに、天王ダムビオトープ機材物置を設置しました。

実施日	内 容	参加人数
12月15日	草刈り、整地、基礎設置	2人
12月18日	物置搬入	7人
12月24日	アンカー工事	3人
延べ3日		延べ12人

### 成果・課題など

- これまでは活動の度に機材の運搬が必要であり、自宅と活動地を数往復しなければいけないこともあり、環境保全活動をするために多くのガソリンを消費するという矛盾が起こっていました。また、人より荷物の運搬が優先のため、送迎が必要な参加希望者の参加を断ることもありました。さらに、回収したゴミの液垂れ等で自家用車が汚れるなど、多くの苦勞がありました。しかし、クラウドファンディングによる支援者からの資金援助、兵庫県の支援（設置にかかる許可手続きや、購入資金の補助）により、物置を設置することができました。
- 物置周辺にはタケが生えており、今後は定期的な刈り取りが必要です。
- 天王ダムスポーツガーデンの職員とは、以前から情報交換をするなどの交流がありましたが、設置に係る事前連絡等によって、関係性がより強固になりました。いろいろな方とのつながりを大切にし、お互い助け合える関係を築きたいと思います。

### 次年度の予定

- 周囲の草刈り、鍵の管理、防風や浸水後の確認など、適切な管理に努めます。



設置場所（整地前） [撮影：2022/12/15]



草刈り、整地後 [撮影：2022/12/15]



物置搬入 [撮影：2022/12/18]



アンカー工事 [撮影：2022/12/24]



アンカー工事 [撮影：2022/12/24]



設置完了 [撮影：2022/12/24]



固定に使用した資材 [撮影：2022/12/24]



プレート [撮影：2022/12/24]

# 天王ダムビオトープの生物調査

河川の水生生物調査を8月、里山ゾーンに植栽された樹木の調査を12月に毎年実施しています。水生生物調査は小学生（1年生）がタモ網とカゴ網を使って調査しました。

場所	実施日	参加人数
川	8月7日	3人
里山ゾーン	12月3日	6人
	延べ2日	延べ9人

## 成果・課題など

### （川）

- 例年確認されていたカワリヌマエビ属が確認されませんでした。川には10cm前後のオオクチバスが多数泳いでおり、これらに食べられた可能性が高いです。
- 川にオオクチバスが多数泳いでいることは珍しく、川に溯上してきた原因が気になります。
- 魚捕りに来ていたファミリーが、大型のドジョウを3匹捕獲していました。形態や状況から外部から持ち込まれて放流された大陸系個体（外来種）と考えられます。
- バケツや水槽に入っている何らかの生きものを放流して立ち去る人の姿を1年で3回目撃しました。市民の自然保護や生物多様性保全に対する意識は徐々に高まって来ているようですが、飼育個体の放流が悪いことだという認識が、まだまだ根付いていないことがよく分かります。

### （里山ゾーン）

- 樹木が順調に成長していることが確認できました。
- オニグルミ、クリ、コナラ、エゴノキが実りました。鳥や哺乳類の餌場になることが期待でき、ビオトープとしての機能が向上してきました。
- エノキが育ち、8月にはタマムシが多数飛翔しているのが確認されました。
- コンベックス（メジャー）で計測できないほど、植栽木の樹高が高くなってきました。
- バッタ、カマキリの種類が多く、子供の虫取り場としてよい場所になっています。

## 次年度の予定

- 活動を継続します。



カワムツ [撮影：2022/8/7]



ドンコ (左) とカワヨシノボリ (右)  
[撮影：2022/8/7]



(在来) ドジョウ [撮影：2022/8/7]



オオクチバス [撮影：2022/8/7]



コオニヤンマ [撮影：2022/8/7]



サワガニ [撮影：2022/8/7]



ニホントカゲ [撮影：2022/8/7]



カゴ網 [撮影：2022/8/7]



検測桿をした樹高測定 [撮影：2022/12/3]



調査風景 [撮影：2022/12/3]



調査風景 [撮影：2022/12/3]



里山ゾーンの様子 [撮影：2022/12/3]



オオカマキリの卵 [撮影：2022/12/3]



オオカマキリ [撮影：2022/8/6]



エゴノキ [撮影：2022/8/6]



クリ [撮影：2022/10/1]

## 里山ゾーンの植栽木モニタリング結果

### 1. 調査方法

里山ゾーンにおける植栽植物の調査を12月3日に実施しました。調査は2018年度まで神戸土木事務所が行ってきた方法に準拠し、測定項目は生育本数、樹高、枝張りとししました。なお、樹木の太さとしてこれまで地上10cm高の幹径を計測していましたが、樹高が高くなったため、2021年度から胸高直径(約1.3mの高さの幹回り)の計測に切り替えています。

### 2. 調査結果

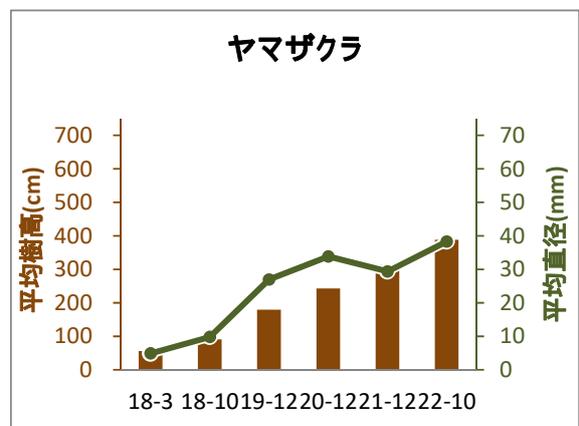
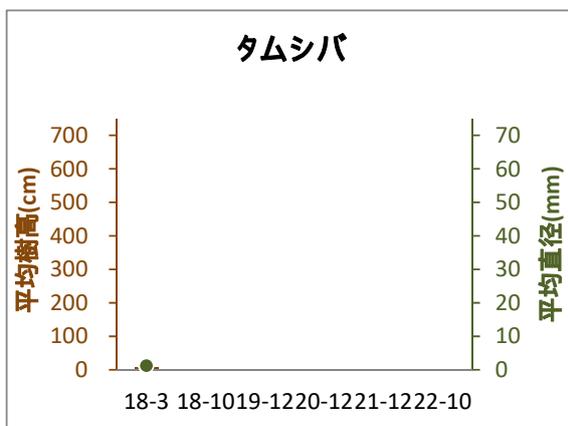
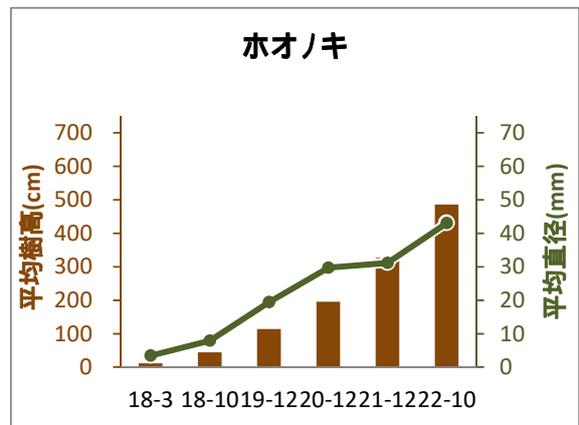
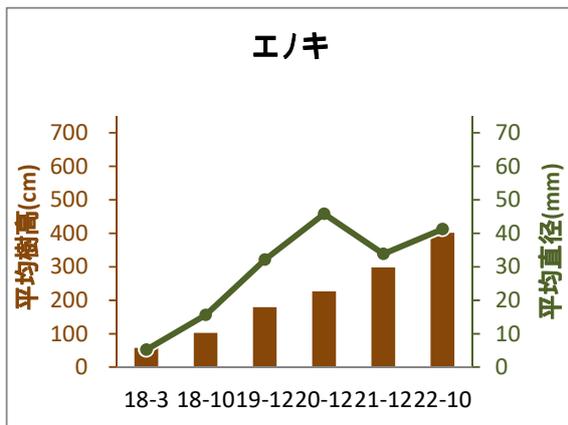
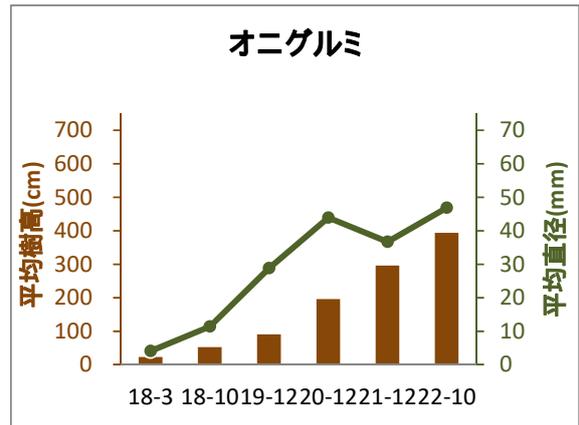
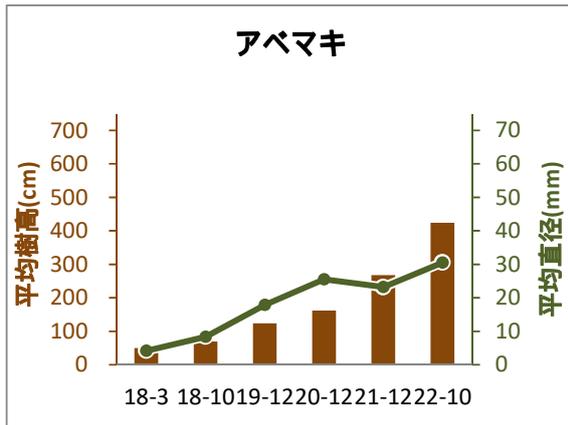
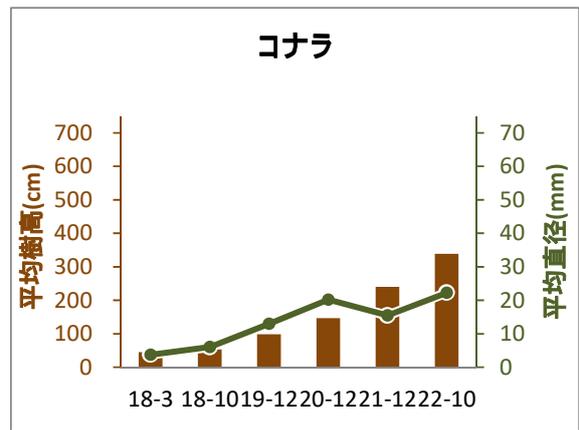
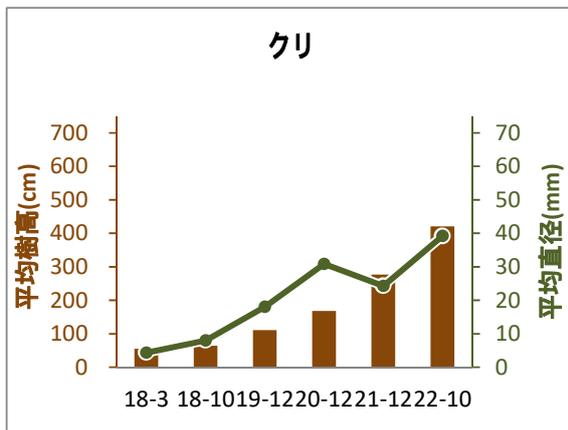
調査の結果、概ね順調に生育していることが分かりました。

平均樹高は356cm(昨年度:262cm)で、最大樹高はホオノキの719cmでした。植栽当初は草より小さな木もありましたが、林らしい外観になってきました。また、エゴノキ、クリ、コナラ、オニグルミが結実し、虫や小鳥、哺乳類の餌になっていると考えられます。その他にも、モズのはやにえがあつたり、エノキに集まるタマムシや、多数のチョウやバッタ類が生息していたりと、自然観察の場としての価値が年々向上してきており、今後が非常に楽しみです。

表 里山ゾーンの植物モニタリング調査結果概要

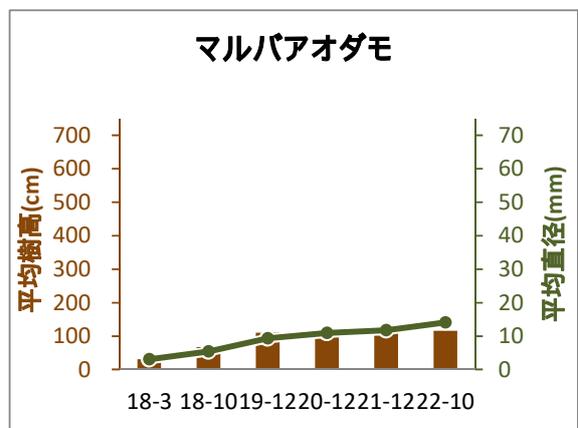
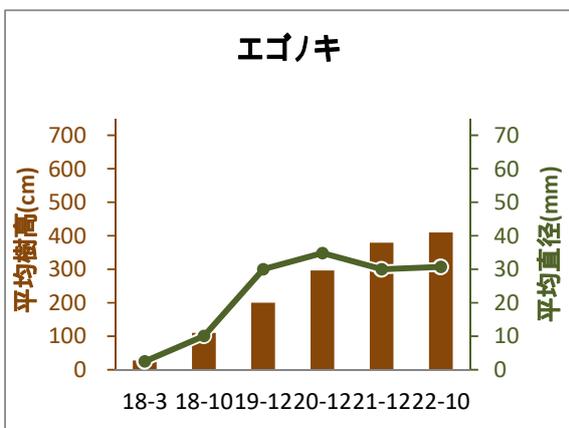
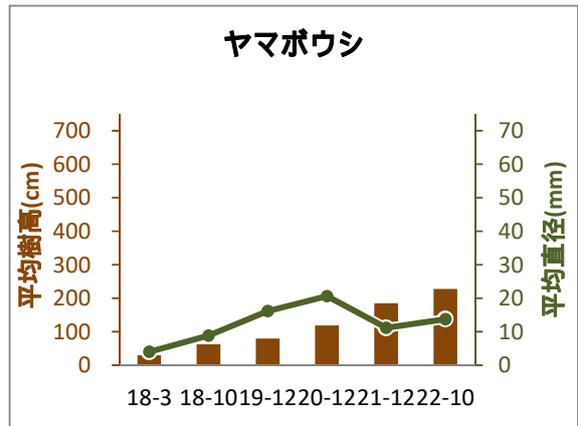
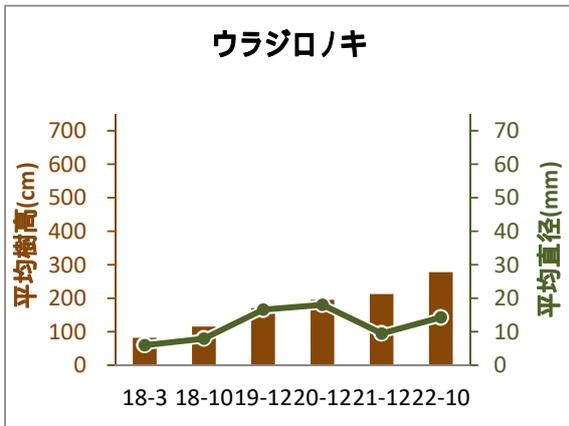
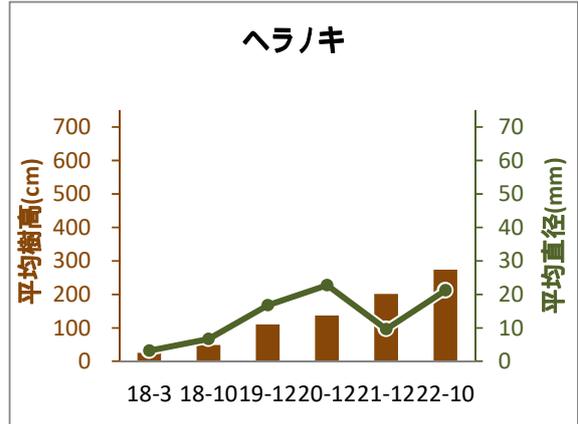
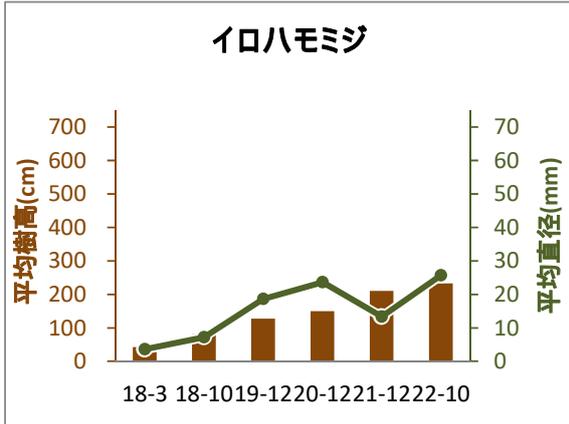
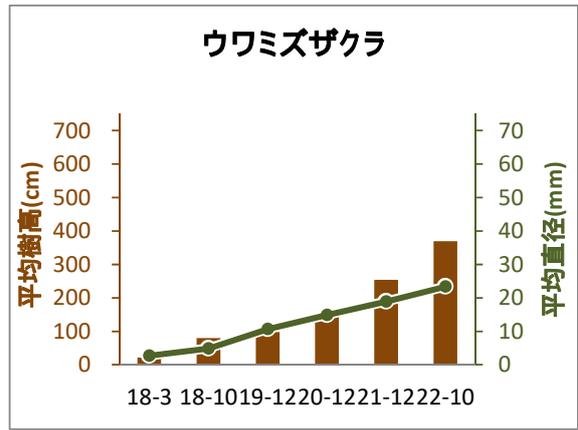
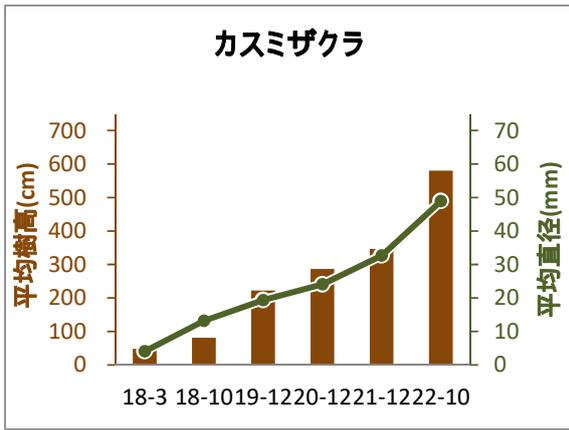
調査時期	生育箇所数	生育本数	生育種数
2017年2月14日 (植栽時)	203箇所	554本	16種
2018年10月24日	179箇所	428本	15種
2019年12月7日	178箇所	405本	15種
2020年12月6日	182箇所※	398本	15種
2021年12月4日 20日	180箇所	393本	15種
2022年12月3日	178箇所	386本	15種

※捕植により生育箇所数が増加した。



2021年から胸高直径を使用している。

図 樹種別の平均樹高と平均直径の推移 (1)



2021年から胸高直径を使用している。

図 樹種別の平均樹高と平均直径の推移 (2)

## カエルの産卵場づくり

これまで天王ダムビオトープではニホンアカガエル、ニホンヒキガエルの生息が確認されています。しかし、これらのカエルの産卵に適した水たまりがないことから、2022年度から河原に産卵用の水たまりをつくる活動を年実施しており、2022年度にはニホンアカガエルが産卵し、オタマジャクシの生長を観察できる場として、遊びに来た親子に人気のスポットになりました。

実施日	参加人数
2月4日	6人

### 成果・課題など

- 昨年度つくった産卵場にはニホンアカガエルが産卵し、6月頃までオタマジャクシの観察ができました。川遊びに来た親子に人気のスポットになり、定期的にオタマジャクシの生長を観察しにやって来る親子もいました。
- カエルの卵を懐かしむ大人や、興味津々なまなざしでカエルの卵を見て、恐る恐る触る子供など、ビオトープにあるべき自然の触れ合い場を創出することができました。

### 次年度の予定

- 活動を継続します。



水たまりづくり [撮影：2023/5/4]



完成 [撮影：2023/5/4]



昨年の卵 [撮影：2022/3/5]



昨年のオタマジャクシ [撮影：2022/4/2]

## 美化活動

毎回の活動時にゴミ拾いをしました。拾っても拾ってもゴミは減りません。  
また、親水施設のタイル上に泥が堆積し、雑草が繁茂する原因になっていたことから、泥かきを行いました。

実施日	参加人数
4月2日	5人
5月7日	44人
6月4日	9人
7月2日	5人
8月6日	4人

実施日	参加人数
9月3日	5人
10月1日	5人
11月5日	5人
12月3日	6人
2月4日	6人

### 成果・課題など

- 毎回、45L ビニール袋が一杯になる量の可燃ごみを拾いました。
- 中に液体が入ったままの空き缶やペットボトルも多く、洗い流すのが手間です。
- 空き缶の中にタバコの吸い殻が入っていることがしばしばあり、怒りを覚えます。
- 親水施設の泥かきをしたところ、散歩している方や遊びに来た方に「きれいになった」、「座れるようになった」と大変感謝されました。
- ドロドロで苔むしていた対岸のベンチ周りをきれいに清掃したところ、翌日にはタバコの吸い殻と空き缶が放置されていました。早速利用してくれたことが嬉しい反面モラルの低さには残念な気持ちです。

### 次年度の予定

- 活動を継続します。



泥かきとゴミひろい [撮影：2022/4/2]



ゴミひろい [撮影：2023/2/4]



泥かき [撮影：2022/6/4]



泥かき [撮影：2023/2/4]

# いきもの観察会

ビオトープの利活用促進、自然とのふれあい機会の創出等を目的に生きもの観察会を2回企画しましたが、残念ながら申込者がいなくて開催することができませんでした。

回	開催計画日	備考
(予行)	7月2日	会員だけで予行を実施
1回目	7月24日	実施せず
2回目	10月22日	会員だけで予行を実施

## 成果・課題など

- 2回企画しましたが、参加申込者がおらず実施できませんでした。
- 「興味があったが、学校行事や習い事と重なって参加できない」という声が複数ありました。参加しやすい日を模索する必要があります。
- チラシを作成し、小部東小学校、ベルスト鈴蘭台、Facebookで配布しました。

## 次年度の予定

- 参加しやすい日程を検討の上、次年度リベンジします。

## 小部東小学校 先生の意見

- 片道の徒歩移動だけで1コマの授業時間を消費してしまうことを考えると、利用は簡単ではない。
- 授業時間が足りていないのが現状で、校外学習の時間を新たに増やすことはできない。現在、環境学習として森林植物園と自然教育園に校外学習に出かけており、これらと行き先を入れ替えることになる。判断は学年担任の判断による。
- 3年生の環境学習の他に、2年生がトンボなど生きものについて学習する時間がある。
- 天王ダムビオトープに行くと全員が水生生物を捕れて、全員が平等に観察できなければならない。それだけ生きものがあるのか？
- 自然教育園に行けば指導員が指導してくれる。天王ダムビオトープでは誰が指導してくれるのか？
- 小部東小学校が協働でビオトープづくりをしたという経緯は関係ない。今何を学ぶことができる場所なのかに尽きる。



観察会の予行 [撮影：2022/7/2]



観察会の予行 [撮影：2022/7/2]

# 川のいきもの観察会

in 天王ダムビオトープ

先着 15組  
申込必要

**[すること]**

- ・川のいきもの上手なつかまえ方を教えます。
- ・みんながつかまえたいきものを観察します。
- ・ビオトープの説明をします。

**[ちゅうい]**

- ・あみやバケツは各自ご持参ください。
- ・ウォーターシューズやスニーカーを履いてください。
- ・必ず保護者同伴でご参加ください。

**7. 24 (日) 10:00-12:00**

悪天候時：7月31日に延期



Facebook

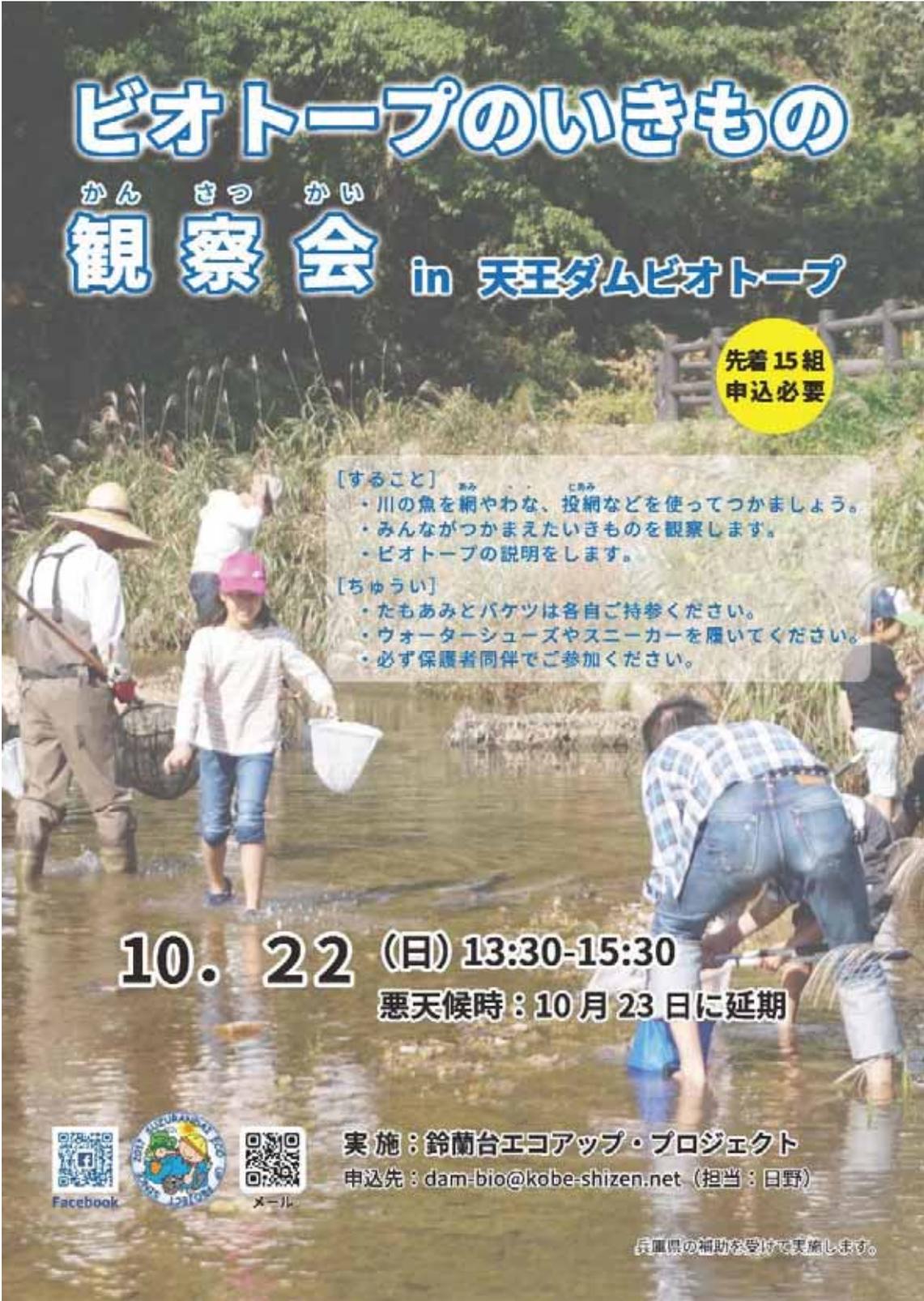


メール

実施：鈴蘭台エコアップ・プロジェクト

申込先：dam-bio@kobe-shizen.net（担当：日野）

兵庫県補助を受けて実施します。



# ビオトープのいきもの

かん さつ かい  
**観 察 会** in 天王ダムビオトープ

**先着 15組  
申込必要**

**【すること】**

- ・川の魚を網やわな、投網などを使ってつかましよう。
- ・みんながつかまえたいきものを観察します。
- ・ビオトープの説明をします。

**【ちゅうい】**

- ・たもあみとバケツは各自ご持参ください。
- ・ウォーターシューズやスニーカーを履いてください。
- ・必ず保護者同伴でご参加ください。

**10. 22 (日) 13:30-15:30**  
悪天候時：10月23日に延期

Facebook  メール

実施：鈴蘭台エコアップ・プロジェクト  
申込先：dam-bio@kobe-shizen.net（担当：日野）

兵庫県補助を受けで実施します。

添付資料 (里山ゾーンの植物モニタリング調査票)

里山ゾーンの植物モニタリング調査票 (1)

箇所番号	樹種名	植栽本数(本)	生育本数(本)	樹高最大木のデータ				備考
				胸高直径(mm)	樹高(cm)	枝張り(cm)	状態(記入用)	
A-001	ヤマザクラ	2	1	21.2	260	150	良好	地際36.9mm
A-002	エゴノキ	1	1	30.0	380	122	良好	地際59.5mm
A-003	ホオノキ	3	2	36.1	343	178	良好	
A-004	エノキ	3	3	38.8	350	375	良好	
A-005	コナラ	3	2	25.2	255	220	良好	
A-006	ウワミズザクラ	1					消失	2018水害
A-007	ヤマボウシ	3	1	8.9	188	104	良好	
A-008	コナラ	3	2	20.0	257	285	良好	
A-009	エゴノキ	1					消失	2018水害
A-010	ヘラノキ	3	1	10.5	192	95	良好	
A-011	コナラ	3	2	13.1	268	198	良好	
A-012	ヘラノキ	3					枯死	2018枯死
A-013	コナラ	3	1	22.8	88	122	やや悪い	生長遅い、地際径
A-014	コナラ	3	2	15.8	245	157	良好	
A-015	コナラ	3	2	11.9	220	190	良好	
A-016	マルバアオダモ	2					枯死	2020ホオノキ移植、番号札必要
A-017	コナラ	3	2	14.2	238	181	良好	
A-018	コナラ	3	2	13.9	282	131	良好	
A-019	コナラ	3	1	11.2	216	159	良好	番号札紛失
A-020	コナラ	3	2	12.4	222	210	良好	
A-021	オニグルミ	2	1	44.9	308	274	良好	
A-022	コナラ	3	3	1.5	280	232	良好	
A-023	ヤマボウシ	2					枯死	2018枯死
A-024	ヤマボウシ	2	1	10.6	173	46	良好	2019ホオノキ移植、番号札必要
A-025	イロハモミジ	2					消失	2018木杭ごと消失
A-026	ウラジロノキ	3	2	10.6	255	63	良好	
A-027	ヤマザクラ	2	1	14.2	218	135	良好	
A-028	ヤマボウシ	2					枯死	
A-029	ホオノキ	3	3	39.5	414	205	良好	
A-030	エノキ	3	2	49.3	247	276	良好	
A-031	マルバアオダモ	2	1	11.7	116	31	やや悪い	地際径
A-032	クリ	3	2	15.8	273	270	良好	
A-033	マルバアオダモ	2					枯死	2018枯死
A-034	ヘラノキ	3					枯死	2018枯死
A-035	アベマキ	3	2	13.0	197	197	良好	
A-036	ヘラノキ	3	1	8.7	210	148	良好	
A-037	コナラ	3	1	3.4	140	139	良好	
A-038	ウラジロノキ	3	2	4.8	159	57	良好	
A-039	エノキ	3	3	28.7	315	407	良好	
A-040	コナラ	3	2	20.4	290	213	良好	

里山ゾーンの植物モニタリング調査票 (2)

箇所番号	樹種名	植栽本数 (本)	生育本数 (本)	樹高最大木のデータ				備考
				胸高直径 (mm)	樹高 (cm)	枝張り (cm)	状態 (記入用)	
A-041	クリ	3	3	31.4	323	330	良好	
A-042	クリ	3	3	25.7	325	292	良好	
A-043	クリ	3	3	19.8	296	280	良好	
A-044	ウラジロノキ	3	3	8.2	273	79	良好	
A-045	クリ	3	3	20.6	307	191	良好	
A-046	エノキ	3	3	33.0	314	216	良好	
A-047	コナラ	3	3	15.9	209	149	良好	
A-048	クリ	3	3	11.1	212	230	良好	
A-049	コナラ	3	2	5.1	144	105	やや悪い	生長遅い
A-050	ヤマザクラ	1	1	17.3	292	99	良好	
A-051	ウラジロノキ	3	2	7.2	198	72	良好	
A-052	タムシバ	1					枯死	
A-053	コナラ	3	2	14.2	223	140	良好	
A-054	コナラ	3	1	12.9	240	154	良好	
A-055	コナラ	3	3	25.2	240	170	良好	
A-056	クリ	3	3	17.3	206	222	良好	
A-057	エノキ	3	3	22.4	244	240	良好	
A-058	ウワミズザクラ	1	1	18.9	254	116	良好	
A-059	クリ	3	3	18.5	266	279	良好	
A-060	コナラ	3	2	15.0	326	148	良好	
A-061	コナラ	3	3	9.7	243	148	良好	
A-062	アベマキ	3	2	23.8	195	149	良好	
A-063	アベマキ	3	3	23.9	253	150	良好	
A-064	コナラ	3	3	22.5	303	163	良好	
A-065	クリ	3	3	29.8	372	271	良好	
A-066	コナラ	3	2	25.4	282	153	良好	
A-067	アベマキ	3	3	23.8	311	173	良好	
A-068	アベマキ	3	2	19.2	200	126	良好	
A-069	アベマキ	3	3	18.3	150	259	良好	
A-070	コナラ	3	1	14.2	230	134	良好	
A-071	ヤマザクラ	2	2	37.3	321	304	良好	
A-072	ホオノキ	3	3	37.5	356	190	良好	
A-073	ウラジロノキ	3	2	9.2	213	57	良好	
A-074	ヤマザクラ	2	2	19.2	248	115	良好	
A-075	ウラジロノキ	3	3	3.9	152	55	良好	
A-076	マルバアオダモ	2					消失	
A-077	タムシバ	1					枯死	2018枯死
A-078	アベマキ	3	3	17.5	253	202	良好	
A-079	アベマキ	3	3	24.5	252	202	良好	
A-080	アベマキ	3	3	33.1	241	190	良好	

里山ゾーンの植物モニタリング調査票 (3)

箇所番号	樹種名	植栽本数(本)	生育本数(本)	樹高最大木のデータ				備考
				胸高直径(mm)	樹高(cm)	枝張り(cm)	状態(記入用)	
A-081	ホオノキ	3	2	31.1	300	190	良好	1本伐採被害
A-082	コナラ	3	1	17.3	291	184	良好	
A-083	コナラ	3	3	19.0	303	230	良好	
A-084	コナラ	3	3	15.2	236	159	良好	
A-085	クリ	3	3	22.9	279	242	良好	1本増加
A-086	クリ	3	2	13.5	236	192	良好	
A-087	エノキ	3	3	39.8	364	253	良好	
A-088	コナラ	3	1	19.5	287	80	良好	
A-089	ヤマザクラ	2	2	31.9	336	257	良好	幹が多い
A-090	クリ	3	3	26.8	267	260	良好	
A-091	クリ	3	1	23.5	223	246	良好	
A-092	マルバアオダモ	2					消失	誤伐
A-093	アベマキ	3	3	37.2	345	207	良好	
A-094	アベマキ	3	3	28.8	255	179	良好	
A-095	アベマキ	3	3	28.2	264	183	良好	
A-096	ウラジロノキ	3	2	17.7	307	95	良好	
A-097	コナラ	3	3	26.1	292	211	良好	
A-098	コナラ	3	3	14.5	274	190	良好	
A-099	ウラジロノキ	3	1	5.4	185	106	良好	少し傾いている
A-100	コナラ	3	3	21.5	247	166	良好	
A-101	アベマキ	3	2	17.3	258	185	良好	
A-102	オニグルミ	2	1	45.0	336	429	良好	
A-103	コナラ	3	2	24.0	301	210	良好	
A-104	ヤマザクラ	2	2	40.8	361	299	良好	
A-105	ウラジロノキ	3	3	15.4	150	72	良好	先枯れ
A-106	イロハモミジ	2	1	6.4	232	90	良好	
A-107	クリ	3	3	34.3	335	340	良好	
A-108	タムシバ	1					枯死	2018枯死
A-109	クリ	3	3	34.5	325	345	良好	
A-110	コナラ	3	3	23.1	297	220	良好	
A-111	ホオノキ	3	3	38.8	329	212	良好	
A-112	コナラ	3	3	26.6	324	208	良好	
A-113	アベマキ	3	3	26.8	338	248	良好	
A-114	アベマキ	3	3	32.8	322	195	良好	
A-115	ウラジロノキ	3	2	10.6	247	71	良好	
A-116	エノキ	3	3	28.9	263	233	良好	
A-117	ヤマザクラ	2	1	40.4	394	266	良好	
A-118	ウラジロノキ	3	2	12.3	213	76	良好	
A-119	クリ	3	3	34.7	334	260	良好	
A-120	クリ	3	2	33.7	377	273	良好	

里山ゾーンの植物モニタリング調査票 (4)

箇所番号	樹種名	植栽本数(本)	生育本数(本)	樹高最大木のデータ				備考
				胸高直径(mm)	樹高(cm)	枝張り(cm)	状態(記入用)	
A-121	クリ	3	3	54.1	408	344	良好	
A-122	タムシバ	1					枯死	2018枯死
A-123	ヤマザクラ	2	1	20.0	197	55	良好	2019ホオノキ移植、番号札必要
A-124	アベマキ	3	3	30.0	320	254	良好	
A-125	ヤマザクラ	2	2	38.0	400	330	良好	
A-126	ウラジロノキ	3	2	11.8	243	90	良好	
A-127	イロハモミジ	2	1	20.5	201	110	良好	
A-128	コナラ	3	2	13.6	234	135	良好	
A-129	ウラジロノキ	3	1	6.5	164	79	良好	
A-130	ヤマザクラ	2	1	27.1	272	250	良好	
A-131	コナラ	3	2	10.9	218	157	良好	
B-132	ホオノキ	3					枯死	木杭なし、2018枯死
B-133	コナラ	3	1	10.5	250	130	良好	
B-134	コナラ	3	2	10.1	240	164	良好	
B-135	コナラ	3					消失	
B-136	ホオノキ	3	1	21.6	404	202	良好	
B-137	コナラ	3	2	11.7	200	110	良好	1本細い
B-138	コナラ	3	2	7.3	185	140	良好	
B-139	クリ	3	1	13.3	1.8	97	良好	2019.2補植(3本)
B-140	エノキ	3	2	11.1	292	246	良好	
B-141	コナラ	3	1	12.5	213	177	良好	
B-142	アベマキ	3	3	14.5	206	124	良好	
B-143	コナラ	3	3	6.4	175	120	良好	
B-144	アベマキ	3	2	10.3	236	105	良好	2019.2補植(2本)
B-145	コナラ	3					枯死	
B-146	クリ	3	1	4.7	163	80	良好	2019.2補植(3本)、1本枯れ
B-147	オニグルミ	2	3	28.7	233	240	良好	1本復活
B-148	コナラ	3	3	4.9	144	123	良好	
B-149	アベマキ	3	3	14.1	235	168	良好	
B-150	エノキ	3	3	28.1	329	283	良好	
B-151	エノキ	3	3	28.8	313	275	良好	
C-152	ヘラノキ	3					枯死	2018水害
C-153	ヤマザクラ	2	1	36.2	345	280	良好	
C-154	ヤマザクラ	2					枯死	2018水害、アベマキ2本補植(2021.3)
C-155	カスミザクラ	2					枯死	2018水害
C-156	カスミザクラ	2	1	32.7	347	188	良好	
C-157	ヤマボウシ	2	1	13.1	201	100	良好	
C-158	タムシバ	1					枯死	2018枯死
C-159	コナラ	3	3	21.0	256	204	良好	
C-160	コナラ	3	2	11.6	215	160	やや悪い	生長遅い

里山ゾーンの植物モニタリング調査票 (5)

箇所番号	樹種名	植栽本数(本)	生育本数(本)	樹高最大木のデータ				備考
				胸高直径(mm)	樹高(cm)	枝張り(cm)	状態(記入用)	
C-161	コナラ	3	2	36.1	314	242	良好	
C-162	コナラ	3					消失	誤伐
C-163	コナラ	3	2	10.4	213	167	良好	番号札紛失
C-164	コナラ	3	3	12.3	248	176	良好	
C-165	ホオノキ	3	1	32.2	343	120	良好	
C-166	コナラ	3	3	16.1	284	157	良好	
C-167	コナラ	3	2	23.4	277	180	良好	
C-168	コナラ	3	3	22.5	242	228	良好	
C-169	タムシバ	1					枯死	2018枯死
C-170	コナラ	3	2	8.7	240	160	良好	
C-171	コナラ	3	3	16.0	237	212	良好	プレート釘抜け
C-172	コナラ	3	3	14.5	267	153	良好	
C-173	エノキ	3	3	40.0	287	333	未調査	地際径62.7mm
C-174	アベマキ	3	3	32.9	283	216	良好	
C-175	コナラ	3	2	18.9	251	188	良好	
C-176	アベマキ	3	3	25.3	281	180	良好	
C-177	コナラ	3	3	21.8	287	170	良好	
C-178	コナラ	3	1	19.9	253	220	良好	
C-179	コナラ	3	1	2.4	34	24	悪い	域外苗
C-180	コナラ	3	2	13.2	242	140	良好	
C-181	コナラ	3	3	18.3	262	213	良好	
C-182	コナラ	3	3	22.8	226	142	良好	
C-183	コナラ	3	3	10.8	266	185	良好	
C-184	コナラ	3	2	9.5	248	195	良好	
C-185	コナラ	3	1	8.4	178	120	やや悪い	エノキに被圧されている
C-186	エノキ	3	3	43.0	305	360	良好	
C-187	コナラ	3	3	21.4	277	193	良好	1本細い
C-188	アベマキ	3	3	20.3	289	189	良好	
C-189	アベマキ	3	3	29.8	326	170	良好	
C-190	アベマキ	3	2	12.5	353	186	良好	
C-191	コナラ	3	1	15.7	210	141	良好	エノキに被圧されている
C-192	コナラ	3	3	16.4	237	186	良好	
C-193	コナラ	3					枯死	
C-194	コナラ	3					枯死	
C-195	コナラ	3	1	3.3	166	105	やや悪い	
C-196	エノキ	3	3	42.6	306	365	良好	
C-197	アベマキ	3	3	22.4	320	203	良好	
C-198	オニグルミ	2	1	30.9	268	308	良好	
C-199	エノキ	3	3	27.7	308	330	良好	
D-200	エノキ	3	2	45.5	235	267	良好	
D-201	イロハモミジ	2	2	24.1	270	140	良好	
D-202	イロハモミジ	3	1	2.3	140	71	やや悪い	生長遅い
D-203	エゴノキ	1					枯死	2018水害